

# 全国瞬時警報 システム (J-ALERT) を開始します

町では、平成23年5月6日から「全国瞬時警報システム（J-ALERT）」による緊急放送の運用を開始します。このシステムは、津波警報や緊急地震速報、弾道ミサイル情報など、対処に時間的余裕のない事態が発生した場合に、国が情報を人工衛星を用いて全国の市区町村に送信し、町の同報系防災行政無線を自動起動させ緊急情報を直接町内へ伝えるシステムです。こちらの情報が放送された時は、テレビ、ラジオをつけて情報に注意し身の安全を確保して落ち着いて行動するようにしましょう。

## 放送される災害の種類

◎災害情報の種類	放送内容
大津波警報（3m以上） 津波警報（1～2以上）	【サイレン後】大津波警報（津波警報）が発表されました。
緊急地震速報（予測震度5弱以上）	【チャイム後】緊急地震速報。大地震です。大地震です。
東海地震予知情報	【チャイム後】東海地震予知情報が発表されました。
東海地震観測情報	【チャイム後】東海地震観測情報が発表されました。
弾道ミサイル情報	【サイレン後】ミサイル発射情報、ミサイル発射情報、当地域にミサイル攻撃の可能性があります。
航空攻撃情報	【サイレン後】航空攻撃情報、航空攻撃情報、当地域に航空攻撃に可能性があります。
ゲリラ・特殊部隊攻撃情報	【サイレン後】ゲリラ攻撃情報、ゲリラ攻撃情報、当地域にゲリラ攻撃の可能性があります。
大規模テロ情報	【サイレン後】大規模テロ情報、大規模テロ情報、当地域にテロの可能性がります。

### \*注意事項

- ・これらの情報は緊急情報のため、24時間いつでも自動的に放送されます。
- ・緊急地震速報は、地震による強い揺れを事前にお知らせしますが、震源が近いときは間に合わないことがあります。
- ・全国瞬時警報システムは、消防庁が発した情報を受信し、自動で町の同報系防災行政無線を起動させて放送するシステムです。そのため、誤報などの可能性があります。その際はキャンセル放送が流されます。

## 住宅用火災警報器を設置されましたか？

消防法の改正により住宅用火災警報器の設置が義務化されています。住宅火災による犠牲者（特にお年寄り）が年々増加し、特に火災に気がつくのが遅れたことに原因がある事が住宅火災全体の4割にあたります。

火災の初期段階で気がつき、早急に消火活動を行い、避難をしていれば犠牲者をださないで済むようなケースも数多く存在します。このように住宅用火災警報器が設置されていないと火災の発生に気がつくのが遅れ大切な命や財産を失う場合もあります。いち早く気づくことでいち早く行動がとれます。住宅用火災警報器を設置しましょう！

